

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年1月4日（月）～令和3年1月10日（日）〔令和3年第1週〕の感染症発生状況

第1週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.89人と前週（1.08人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.49人と前週（0.39人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.43人と前週（0.22人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



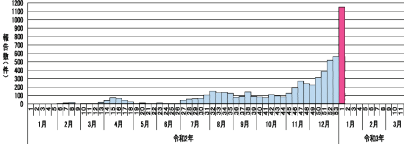
不要不急の外出は控えてください

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発出されました！

首都圏における新型コロナウイルス感染症の患者報告数が急増し、医療提供体制がひっ迫してきていることから、令和3年1月7日に埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県を対象に緊急事態宣言が発出されました。13日にはさらに2府5県が追加され、対象地域が拡大しました。今回の緊急事態宣言では、これまでの経験や知見などから、より効果的・集中的な対策が講じられています。

川崎市においては、令和3年第1週（1月4日～1月10日）の新型コロナウイルス感染症の報告数は1000件を超え、1148件となりました。感染拡大を抑制するためには、一人ひとりの心掛けが重要です。不要不急の外出を自粛し、懇親会や飲み会は控え、人と人が密着する行動を避けることも、正しいマスクの着用や手洗いなどの感染対策を徹底しましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別発生状況（令和2年第1週～令和3年第1週）



- 今回の緊急事態宣言下における4つの対策
- ① 飲食店の営業時間短縮
 - ② テレワークによる出勤7割減
 - ③ 20時以降の外出自粛
 - ④ イベントの人数制限

今回と前回の緊急事態宣言の違い

	今回の緊急事態宣言 (11府県)	前回の緊急事態宣言 (特定警戒都道府県)
外出や移動	不要不急の外出や移動の自粛 ・特に20時以降の外出自粛の徹底	「最終7時、能力段階の施設利用の制限」を目標とする。 ・都道府県をまたいだ人の移動の自粛等の期待を伴う飲食店への外出の自粛
施設の利用	飲食店に対する営業時間の短縮 (20時までとする。ただし、調理の強要は11時から15時とする。) ・演技場や大規模な店舗などに対しては、飲食店と同等の措置を講ずる	・施設拡大につながるおそれのある施設に対して使用制限の要請を求める。
イベント等の開催	・6000人以下かつ収容率50%まで ・飲食の制限	・比較的小人数のイベント等も含め、主催者に厳格な対応を求める。
学校(大学、高等学校、専門学校、幼稚園等も含む)。	・一律休業はせず、感染防止対策の徹底を要請 ・懇親会や飲み会の注意喚起 ・感染防止対策における感染リスクの低い活動の促進	・感染防止対策の徹底を要請(一律の臨時休業は求めない。)

川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター(福祉事務所・保健所支所) 令和3年1月13日作成

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年1月11日（月）～令和3年1月17日（日）〔令和3年第2週〕の感染症発生状況

第2週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.24人と前週（1.89人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.57人と前週（0.49人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.38人と前週（0.43人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



受験生のみなさんへ！～新型コロナウイルス感染症の感染対策～

新型コロナウイルス感染症の患者報告数の急激な増加に伴い、幼稚園や学校などにおける感染者数や集団感染事例数も増加しています。

文部科学省によると、令和2年6月1日から12月31日までの間に全国の学校から報告のあった感染者数は、児童生徒6159人、教職員830人であり、また、このうち同一の学校において10人以上の患者が確認された事例は、小学校8件、中学校7件、高等学校26件でした。

すでに受験シーズンに突入しましたが、受験生のみなさんは手洗いや正しいマスクの着用などの基本的な感染対策を今一度徹底しましょう。また、御家族の方も家庭内に持ち込まないように十分な注意が必要です。

全国の小学校、中学校、高等学校等における新型コロナウイルス感染症感染者数の状況(令和2年6月1日～12月31日)

	児童生徒	教職員
小学校	2,217人	327人
中学校	1,513人	174人
高等学校	2,350人	270人
特別支援学校	79人	59人
合計	6,159人	830人

受験生のみなさんへ
～新型コロナウイルス感染防止のための注意事項～

体調がおかしい時は外に出ない、人に会わない

自主検温を行い、体調を把握する

外出は必要最小限にとどめる

外出する際に心掛けること

- 普段からマスクを正しく着用
- 密閉空間、密集場所、密接場面を避ける
- 食事の際は向かい合わせ、会話は最低限に
- 石けんやアルコールによるこまめな手洗いや手消毒

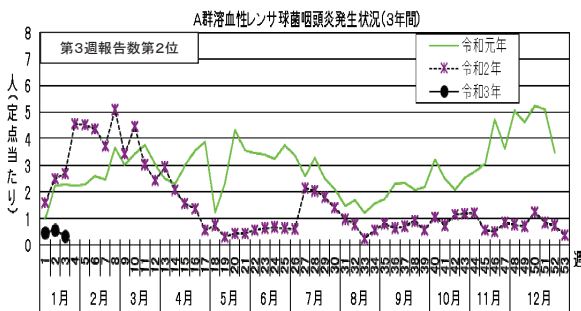
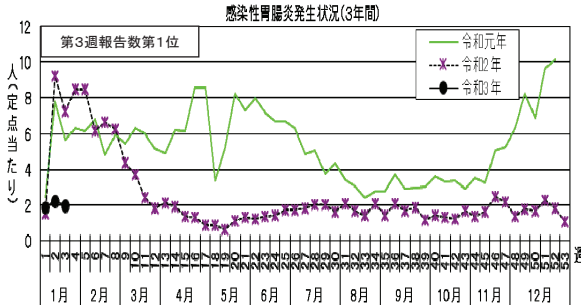
川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター(福祉事務所・保健所支所) 令和3年1月19日作成

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年1月18日（月）～令和3年1月24日（日）〔令和3年第3週〕の感染症発生状況

第3週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.97人と前週（2.24人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.35人と前週（0.57人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.30人と前週（0.38人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。



療養中の感染対策のポイント！～新型コロナウイルス感染症～

新型コロナウイルス感染症の患者数の急増に伴い、宿泊施設だけでなく、自宅や施設内などで療養する方も増加しています。

新型コロナウイルス感染症の主な感染経路には、咳やくしゃみ等のしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことにより感染する飛沫感染や、ウイルスに汚染された手で顔を触ることで、目、鼻、口等の粘膜から感染する接触感染があり、これらの経路を断つことが重要です。

療養中は周囲に感染を拡げないために、正しいマスクの着用、手指消毒、身の回りの清掃や身近な物の消毒を徹底しましょう。

～療養中における感染対策のポイント～

主な感染経路

飛沫感染対策

- 正しいマスクの着用
 - ・鼻と口の両方を確実に覆う
 - ・顔のラインに沿って隙間のないように装着
 - ・マスクから鼻を出さない
- 換気
 - ・1時間に1～2回ほど窓を開放
 - ・換気扇や常時換気設備を常時稼働

接触感染対策

- 手指衛生
 - ・手洗いは石けんやハンドソープで10秒もみ洗いし、流水で15秒すすぐ
 - ・アルコール消毒液はよく手にすりこみ、しっかりと乾燥
- 環境整備
 - ・ドアノブや手すりなどの消毒は、1日に2回ほど家庭用漂白剤を薄めたもので行う
 - ・食器は洗剤と水道水による洗浄
 - ・衣類は通常どおり洗濯機で洗う
 - ・バスタオルなどの共有は禁止

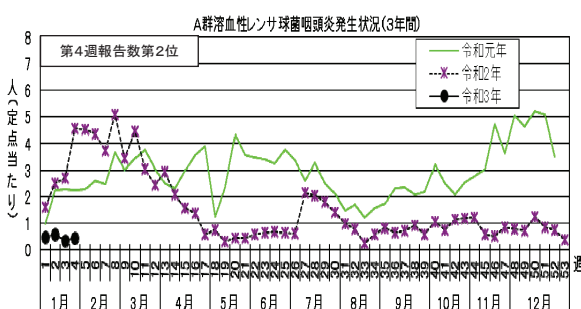
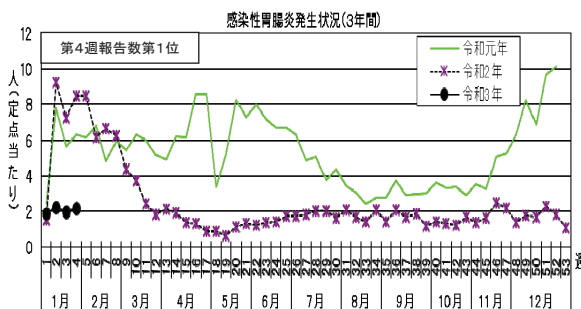
川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
（問合せ先）044-276-8250
令和3年1月26日作成

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年1月25日（月）～令和3年1月31日（日）〔令和3年第4週〕の感染症発生状況

第4週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.16人と前週（1.97人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.43人と前週（0.35人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.38人と前週（0.30人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



風しんの無料抗体検査と風しん（第5期）予防接種はお早めに！

2月4日は、風しんの日です。妊娠20週頃までの妊婦が風しんウイルスに感染した場合、胎児に先天性心疾患や難聴、白内障などの症状を呈する先天性風疹症候群を引き起こすことがあります。

現在、妊婦への感染を防ぐために、過去に風しんの公的予防接種を受けておらず、免疫がないと考えられる成人男性に対して、クーポン券を配布し無料の抗体検査を行っています。さらに、抗体がない方に対しては、風しん（第5期）予防接種としてMR（麻疹風しん混合）ワクチンの接種を無料で実施しています。対象となる方は、まずは早めに抗体検査を実施し、抗体がない場合はなるべく早くMRワクチン接種を済ませましょう。

風しん抗体検査から予防接種までの流れ

1. 風しん抗体検査

事前に実施機関に「クーポン券」を持っていることを伝えて予約し、受診当日は必ず「クーポン券」と本人確認書類（免許証、マイナンバーカード等）を持参してください。

風しん抗体がない場合

2. 風しん予防接種

接種当日は必ず「クーポン券」を持参してください。

※MRワクチン接種後に他の注射用ワクチンを接種する場合は、接種した日から28日以上間隔を空ける必要があります。

風しん（第5期）予防接種事業の概要

【対象者】
昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性
【クーポン券の有効期限】来年度まで延長予定（時期は未定）
※川崎市では、別途独自の風しん対策事業を実施しています。
詳しくは川崎市ホームページをご覧ください。

問い合わせ先

川崎市予防接種コールセンター
電話：044-200-0142
受付時間：8時30分～17時15分
月曜日から金曜日
（祝日、年末年始除く）

川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
（問合せ先）044-276-8250
令和3年2月2日作成

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

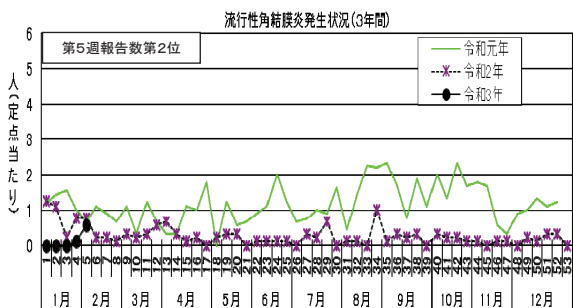
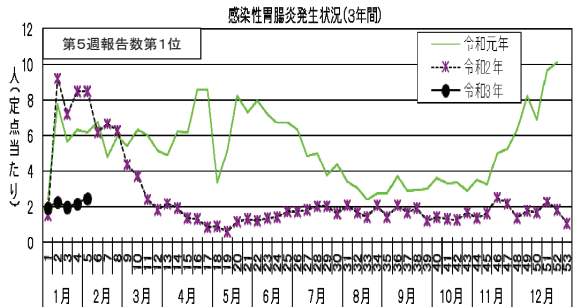
令和3年2月1日（月）～令和3年2月7日（日）〔令和3年第5週〕の感染症発生状況

第5週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 流行性角結膜炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.47人と前週（2.16人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。

流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.56人と前週（0.11人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.47人と前週（0.43人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

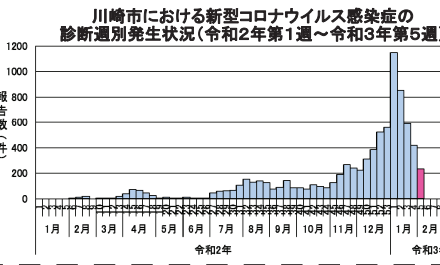


新型コロナウイルス感染症～変異株でも基本的な感染対策は同様です！～

川崎市における令和3年第5週（2月1日～2月7日）の新型コロナウイルス感染症の報告数は233件と、令和3年1月上旬をピークに全国と同様に減少してきました。しかし、1月以降、国内の複数の自治体から海外由来の変異株が検出され、問題になっています。

現在、国内で判明している新型コロナウイルスの変異株には、英国由来、南アフリカ共和国由来、ブラジル由来の3種類があります。いずれも従来の行政検査で新型コロナウイルス感染症の判定は可能であり、さらに、変異株を検出できる検査体制の整備が、川崎市を含め全国の自治体で進められています。

変異株であっても基本的な感染対策は変わりません。マスクを正しく着用し、こまめな手洗いや手指消毒を徹底しましょう。



基本的な感染対策

マスクは鼻と口の両方を確実に覆いましょう。

手洗いや手指消毒を徹底しましょう。

変異株が検出された場合は、現時点では、無症状であっても入院となります。

川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
（問合せ先）044-276-8250
令和3年2月9日作成

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

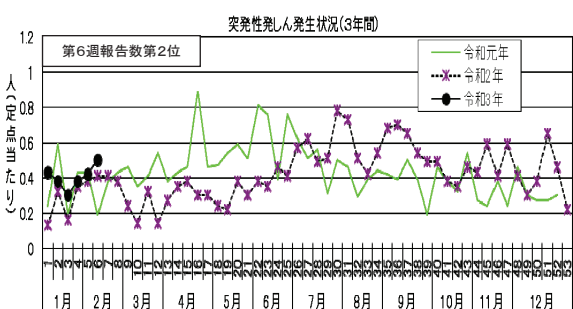
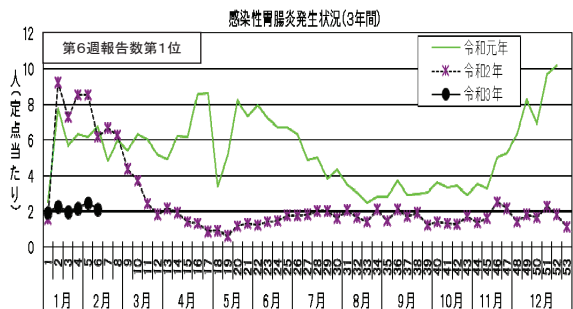
令和3年2月8日（月）～令和3年2月14日（日）〔令和3年第6週〕の感染症発生状況

第6週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 突発性発しん 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.08人と前週（2.47人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.50人と前週（0.42人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.36人と前週（0.47人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。



国内で承認された新型コロナワクチンについて

新型コロナワクチンが、令和3年2月14日に日本で初めて承認されました。今回のワクチンは、従来、国内で使用している生ワクチンや不活化ワクチンとは異なり、ウイルスを構成するタンパク質の遺伝情報（mRNA）を体内に投与し、体内でウイルスのタンパク質を作って、それに対する免疫を獲得するものです。今後、さらにさまざまなワクチンが承認される可能性はありますが、当面は今回のような新しい仕組みのワクチンが使用される予定です。

今回承認されたワクチンについて

<接種方法>
通常は3週間間隔で合計2回、筋肉内に接種（筋肉内注射）します。



※接種当日は自宅で体温を測定していただき、明らかな発熱がある場合や、体調が悪い場合などは接種を受けることはできません。

<接種対象者>
16歳以上の方が対象です。
※現時点では、まずは医療従事者等、次いで高齢者、基礎疾患を有する方に順次接種を行う予定です。

ワクチン接種後に接種部位の痛み等の他、発熱、頭痛、倦怠感といった症状が出ることや、まれにアナフィラキシーという急性のアレルギー症状が起きることもあるといわれています。
アレルギー症状は、早期に適切な処置をすれば回復します。

相談窓口

- 川崎市新型コロナウイルス感染症コールセンター
電話番号：044-200-0730
受付時間：24時間（土日・祝日含む）
- 厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター
電話番号：0120-761770（フリーダイヤル）
受付時間：午前9時～午後9時（土日・祝日含む）

川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
（問合せ先）044-276-8250
令和3年2月16日作成

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年2月15日（月）～令和3年2月21日（日）〔令和3年第7週〕の感染症発生状況

第7週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.03人と前週（2.08人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.64人と前週（0.36人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.47人と前週（0.50人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



子ども予防接種週間～予防接種はお済みですか？～

3月1日から3月7日までの7日間は「子ども予防接種週間」です。予防接種は、感染症にかかりやすい年齢などをもとに、接種の時期が決まっています。接種時期が遅れると、必要な免疫がつかないのが遅れ、重い感染症になるリスクも高まります。特に昨年からの新型コロナウイルス感染症の流行の影響を受けて、接種が遅れているお子さんもいらっしゃるかと思いますが、4月からの入園・入学に備えて、この機会に早めに接種を受けましょう。

小児の定期予防接種の種類

- ◆ ヒブワクチン
- ◆ 小児用肺炎球菌ワクチン
- ◆ B型肝炎ワクチン
- ◆ ロタウイルスワクチン
- ◆ DPT-I PV（1期）、DT（2期）ワクチン
※D：ジフテリア、P：百日咳、T：破傷風、PV：不活化ポリオ
- ◆ BCG（結核）
- ◆ 麻疹・風しん混合（MR）ワクチン
- ◆ 水痘（水ぼうそう）ワクチン
- ◆ 日本脳炎ワクチン
- ◆ ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン

医療機関により予防接種の日時は異なります。また、予約が必要な場合がありますので、事前に確認しましょう。

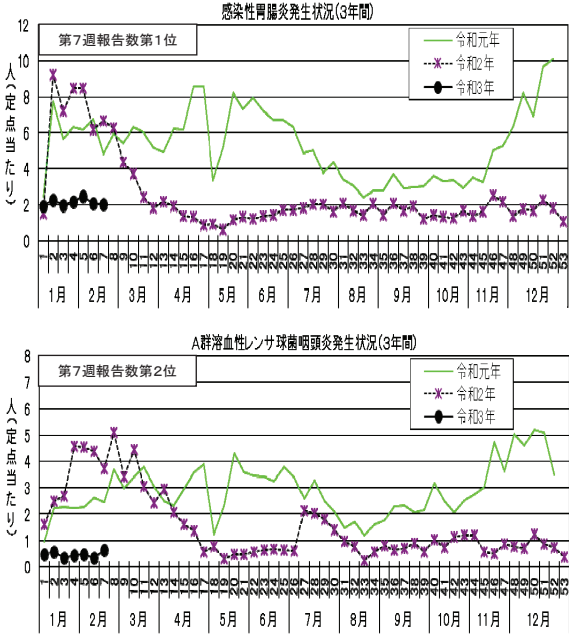
予防接種に際して

- 定期予防接種を受けられる医療機関
川崎市予防接種個別協力医療機関
- 予防接種を受けるときに持っていくもの
① 川崎市予防接種予診票
② 母子健康手帳
- 予防接種の費用
定期予防接種：無料
任意予防接種：有料
※医療機関ごとに料金は異なります。

問合せ先

- 川崎市予防接種コールセンター
電話番号：044-200-0142
受付時間：午前8時30分から午後5時15分まで
月曜日から金曜日（祝日、年末年始除く）

川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
（問合せ先）044-276-8250
令和3年2月24日作成



今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

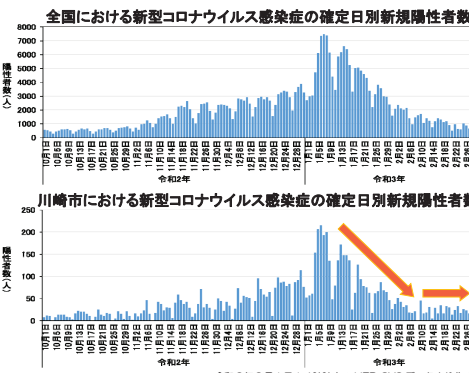
令和3年2月22日（月）～令和3年2月28日（日）〔令和3年第8週〕の感染症発生状況

第8週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.69人と前週（2.03人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.53人と前週（0.64人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.25人と前週（0.47人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。



新型コロナウイルス感染症の報告数を再増加させないために！

新型コロナウイルス感染症の報告数は、首都圏を中心に昨年1月以降急増し、1月上旬をピークに急激に減少しましたが、2月以降は横ばいとなり、さらなる減少はみられていません。川崎市においても同様の傾向であり、2月中旬以降は連日20件前後の報告が続いています。再び増加に転じることがないように、マスクの着用や手指衛生を今一度見直し、人混みを避けるなどの感染対策を再度徹底しましょう。

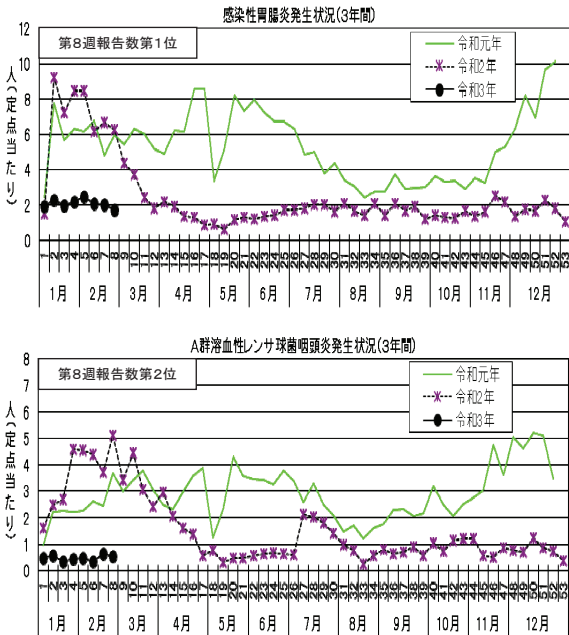


感染を拡げないための対策

- マスクの着用
- 手洗い・手指消毒
- 3密の回避
- テレワークの推奨

会食の際は人と人との間隔を明け、短時間で

川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
（問合せ先）044-276-8250
令和3年3月2日作成

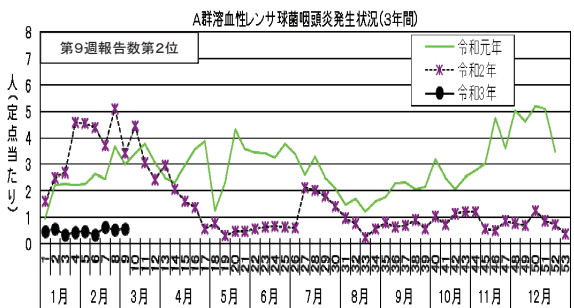
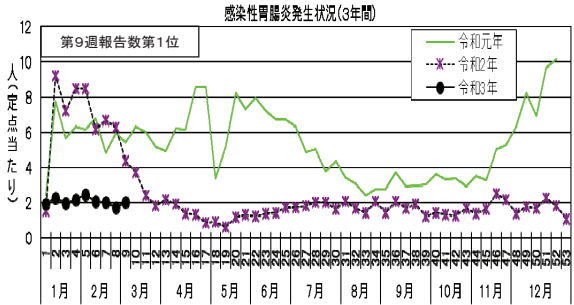


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年3月1日（月）～令和3年3月7日（日）〔令和3年第9週〕の感染症発生状況

第9週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.03人と前週（1.69人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.56人と前週（0.53人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.42人と前週（0.25人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



高齢者向けの新型コロナワクチン接種が始まります！

我が国では、令和3年2月中旬にファイザー社の新型コロナワクチンが薬事承認され、医療従事者向けの先行接種が始まっています。新型コロナワクチンの接種については、一定の接種順位を決めて実施しており、4月以降は高齢者（令和3年度中に65歳に達する、昭和32年4月1日以前に生まれた方）を対象とした接種が始まる予定です。

川崎市においても、高齢者の方へのクーポン券（接種券）発送の準備を進めています。クーポン券は接種時に必要なため、お手元に届いたら大切に保管しましょう。

川崎市の接種体制

事前予約制

- ・集団接種会場（教育文化会館や各市民館）や医療機関等で実施

※接種開始日、予約方法、接種会場などは詳細が決まり次第、市ホームページや市政だよりなどでお知らせします。

- ・接種日に川崎市に住民登録のある16歳以上の方が対象

※長期入院や長期入所など、やむを得ない事情がある場合は、住民票所在地以外でも接種が可能です。

現在国内で承認されている新型コロナワクチン*について

*ファイザー社製

＜ワクチンの種類＞

- ・mRNA（メッセンジャーRNA）ワクチン
- ※mRNAは数日から数日で分解されるため、人の遺伝情報に組み込まれることはありません。

＜接種回数・間隔＞

- ・通常3週間間隔で合計2回、筋肉内に接種
- ※1回目の接種から3週間を超えた場合には、できるだけ早く2回目の接種を受けてください。

＜有効性・安全性＞

- ・発症予防効果は約95%
（ワクチン接種群と非接種群の発症率から算出）
- ・主な副反応は、注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛みなど
（症状の大部分は接種後数日以内に回復します。）
- ・まれな頻度でショックやアナフィラキシー（急性のアレルギー反応）が発生
（直ちに適切な処置が必要です。）

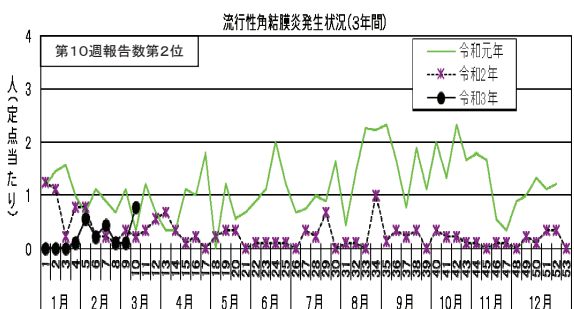
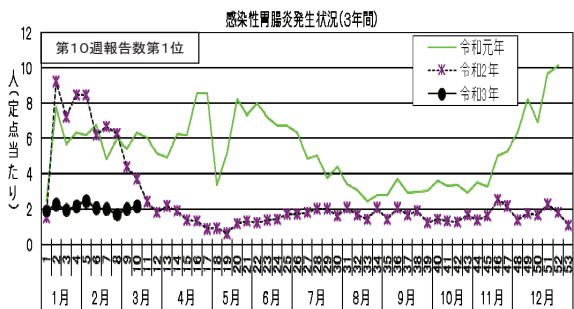
川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
（問合せ先）044-276-8250
令和3年3月9日作成

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年3月8日（月）～令和3年3月14日（日）〔令和3年第10週〕の感染症発生状況

第10週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 流行性角結膜炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.17人と前週（2.03人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.78人と前週（0.11人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.61人と前週（0.56人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。



新型コロナウイルス感染症患者からの感染可能期間について

新型コロナウイルス感染症に感染した方からの感染可能期間は、一般的に発症2日前から発症後10日間程度（特に発症2日前から発症5日目までの感染力が強い。）です。症状消失後も長期間にわたりPCR検査等で陽性になる方や、再度症状がみられる方もいますが、軽症及び中等症の方は、発症10日目以降であれば、周囲への感染リスクは低いことがわかっています。

一方、人工呼吸器などによる治療を必要とする重症の方や免疫不全者は、発症10日目以降も、しばらくは人に感染させる可能性があります。

一旦回復した後に、再び発熱や咳などの症状がみられた際は、別の疾患や後遺症の可能性もありますので、主治医に相談しましょう。

新型コロナウイルス感染症の感染可能期間

曝露

潜伏期間
5日程度
(1~14日)

典型的な症例

発症

約80%は軽症のまま治癒

特に感染力の強い期間

発症2日前 発症日 発症5日 発症10日

重症化

致死率 約1.8%*

発症15日 発症20日

※重症者や免疫不全者は発症15日目まで、重症の免疫不全者は発症20日目まで人に感染させる可能性が高いといわれています。

国内における新型コロナウイルス感染症の後遺症について

発症から60日経過後

- ・嗅覚障害 (19.4%)
- ・呼吸困難 (17.5%)
- ・倦怠感 (15.9%)
- ・咳嗽 (7.9%)

発症から120日経過後

- ・呼吸困難 (11.1%)
- ・嗅覚障害 (9.7%)
- ・倦怠感 (9.5%)
- ・咳嗽 (6.3%)

*電話調査（回復者63人）より
「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引書」第4.2版より転載

電話調査（回復者63人）より
「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引書」第4.2版より転載

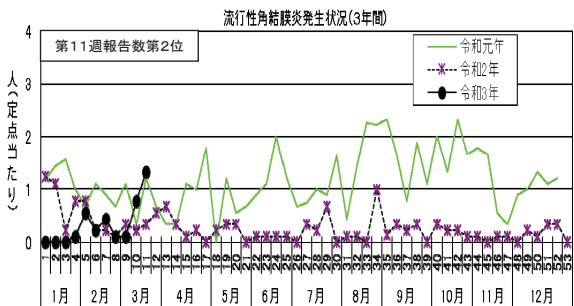
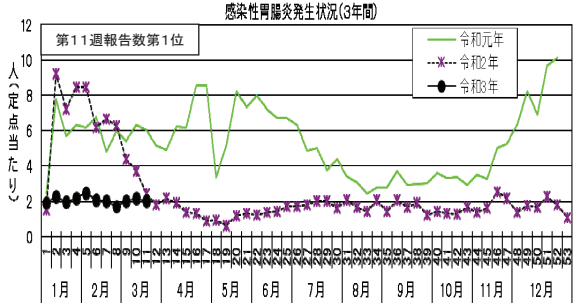
川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
（問合せ先）044-276-8250
令和3年3月16日作成

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年3月15日(月)～令和3年3月21日(日)〔令和3年第11週〕の感染症発生状況

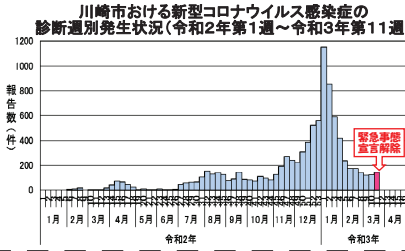
第11週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 流行性角結膜炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.00人と前週(2.17人)から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は1.33人と前週(0.78人)から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.75人と前週(0.61人)から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。



変異株に御注意を！～新型コロナウイルス感染症～

令和3年3月21日をもって1都3県の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が解除され、全ての都道府県で緊急事態措置が終了となりましたが、川崎市における新型コロナウイルス感染症の報告数は、2月以降は横ばいで、3月中旬以降はやや増加しています。

現在、全世界で新型コロナウイルスの変異株の報告が相次いでおり、国内では、イギリス、南アフリカ、ブラジル、フィリピン由来の変異株が報告されています。いずれも従来の株と比べて感染性が高いといわれており、今後の動向には注意が必要です。しかし、変異株であっても感染対策は従来どおりです。引き続き、正しいマスクの着用、手洗いや手指消毒などを徹底しましょう。



国内で判明している新型コロナウイルス感染症の変異株

株	感染性	再感染のリスク	ワクチンへの感受性
イギリス由来	25～40%増加	不明 (一部の株で再感染の可能性あり)	不明 (一部の株でワクチン効果低下の可能性あり)
南アフリカ由来	50%程度増加	あり	ワクチン効果低下の可能性あり
ブラジル由来	1.4～2.2倍増加	あり	不明
フィリピン由来	不明 (増加の可能性あり)	不明 (再感染の可能性あり)	不明

国立感染症研究所 感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の新規変異株について(第7報)を参考に作成

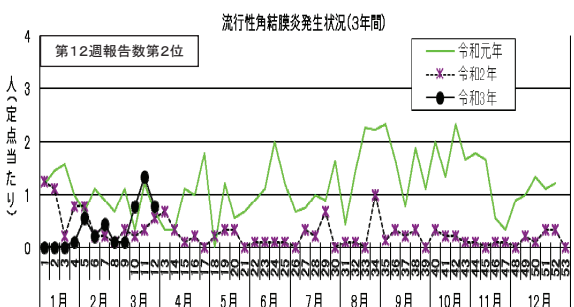
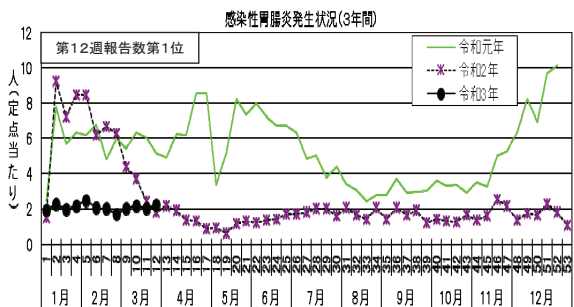
川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター(福祉事務所・保健所支所) (問合せ先) 044-276-8250 令和3年3月23日作成

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年3月22日(月)～令和3年3月28日(日)〔令和3年第12週〕の感染症発生状況

第12週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 流行性角結膜炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.19人と前週(2.00人)から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.78人と前週(1.33人)から減少しましたが、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.47人と前週(0.75人)から減少し、例年より低いレベルで推移しています。



1年間を健康に過ごすために！

新型コロナウイルス感染症の流行の影響を受けて、令和2年春以降は例年流行する感染症の報告数は激減し、流行もみられませんでした。この数週間でRSウイルス感染症や流行性角結膜炎等の報告数が少しずつ増加しています。

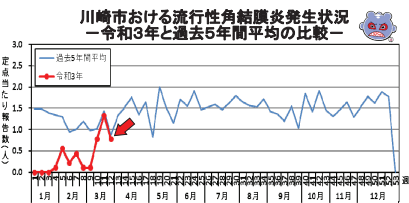
新年度が始まり人の移動が多くなると、新型コロナウイルス感染症を含め、さまざまな感染症にかかる機会が増加します。自分自身や周りにいる大切な人々を感染症から守るために、正しいマスクの着用、手洗いや手指消毒などの基本的な感染対策を徹底しましょう。また、定期予防接種の対象の方は確実に接種を済ませておきましょう。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴う小児の定期予防接種期間の延長について

対象者
 令和2年3月12日以降に小児の定期予防接種期間を経過し、現在未接種の方(接種日時時点で川崎市民の方に限る。)
 ※ただし、次のワクチンは延長できません。
 ロタウイルスワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン

延長可能期間
 令和4年5月31日接種まで

手続き等の詳細につきましては、市ホームページ(「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う定期的予防接種の再延長について(子どもの予防接種)」)をご覧ください。



川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター(福祉事務所・保健所支所) (問合せ先) 044-276-8250 令和3年3月30日作成

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年3月29日（月）～令和3年4月4日（日）〔令和3年第13週〕の感染症発生状況

第13週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 突発性発しん 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.83人と前週（2.19人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.39人と前週（0.42人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.36人と前週（0.47人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。



知っていますか？～ポツリヌス症～

令和3年第13週（3月29日～4月4日）に、川崎市内でポツリヌス症の報告が1件ありました。ポツリヌス症は全国的にも稀な疾患で、市内では過去15年間で初めての発生となりました。

ポツリヌス症は、ポツリヌス菌等が産生するポツリヌス毒素によって筋肉の麻痺を引き起こす疾患です。ポツリヌス菌は、土壌等の環境中に広く分布しており、熱や乾燥等に強い芽胞を形成するため、汚染された食材を加熱調理した食品等に生存して増殖します。ポツリヌス症は、食餌性ポツリヌス症、乳児ポツリヌス症、創傷ポツリヌス症、成人腸管定着ポツリヌス症に分類されます。

食餌性ポツリヌス症とは？

食餌性ポツリヌス症は、ポツリヌス毒素に汚染された食材を使った自家製の発酵食品や真空調理食品、缶詰等の保存食品を摂取することにより発症します。

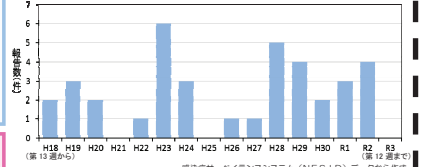
食品のパックが膨らんでいる場合や食品を開封した際に変においがある場合は、絶対に食べない。

乳児ポツリヌス症とは？

乳児は腸内細菌の性状が成人と異なるため、乳児の腸内ではポツリヌス菌の芽胞が発芽・増殖しやすく、腸内に芽胞が入るとポツリヌス毒素が産生されて乳児ポツリヌス症を発症することがあります。

1歳未満の乳児にはハチミツを食べさせない。調乳用の水は一度煮沸し、冷ましたものを使う。

全国におけるポツリヌス症発生状況
—平成18年第13週～令和3年第12週—



- ポツリヌス菌は酸素がない環境下で増殖し、毒素を産生します。
- ポツリヌス毒素は85℃5分の加熱により壊すことができますが、電子レンジでの加熱は有効ではありません。



川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
（問合せ先）044-276-8250
令和3年4月6日作成

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年4月5日（月）～令和3年4月11日（日）〔令和3年第14週〕の感染症発生状況

第14週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.89人と前週（1.83人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.47人と前週（0.36人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.44人と前週（0.39人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



E型肝炎に御注意ください！

川崎市における令和3年のE型肝炎の報告数は、第14週（4月5日～4月11日）までに計5件あり、過去5年間と比較して最多となっています。

E型肝炎は、主にウイルスに汚染された食物や水などを摂取することで感染しますが、感染から発症までの潜伏期間が長いので、感染源の特定に至らない事例も多くみられます。

全国的には、生又は加熱不十分の豚や野生動物の肉などが感染原因と推定される事例が複数報告されているため、生肉の喫食は避け、肉や内臓肉は十分に加熱してから食べましょう。

E型肝炎とは？

【病原体】 E型肝炎ウイルス（遺伝子型1～4型）

【潜伏期間】 15～50日（平均6週間）

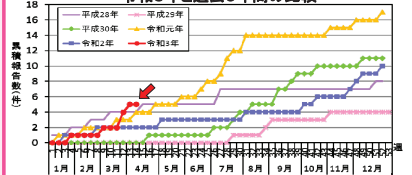
【主な症状】 発熱、悪心、食欲不振、腹痛などの消化器症状、全身倦怠感、黄疸など

【主な推定感染原因】 生又は加熱不十分の肉等（豚レバー、豚肉、鹿肉、イノシシ肉など）の喫食

【治療】 特異的な治療はなく、対症療法が中心



川崎市におけるE型肝炎累積報告数の推移
—令和3年と過去5年間の比較—



- ✓ E型肝炎は不顕性感染が多く、発症しても時間とともに改善し、劇症化することは稀です。
- ✓ 妊婦が感染すると劇症肝炎になりやすく、致死率が20%に達することがあるといわれています。

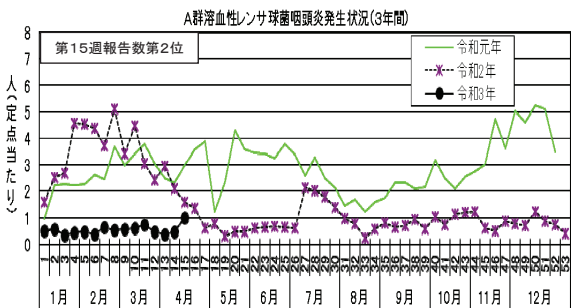
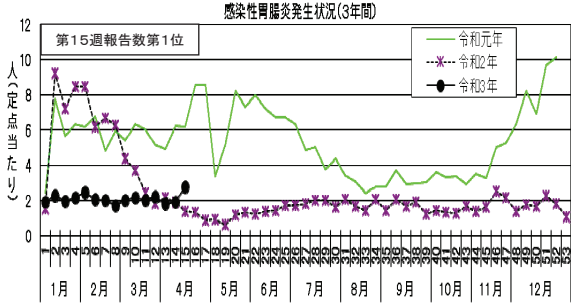
川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
（問合せ先）044-276-8250
令和3年4月13日作成

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年4月12日（月）～令和3年4月18日（日）〔令和3年第15週〕の感染症発生状況

第15週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) RSウイルス感染症でした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.75人と前週（1.89人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.00人と前週（0.47人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は0.53人と前週（0.03人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



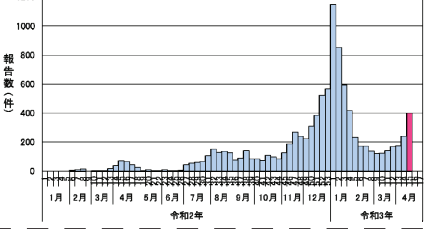
新型コロナウイルス感染症～まん延防止等重点措置実施中～

全国における新型コロナウイルス感染症の報告数は、関西地方を中心に急増しており、神奈川県でも令和3年4月20日～5月11日を目処に、横浜市、川崎市、相模原市を対象にまん延防止等重点措置が実施されています。

川崎市における報告数も、令和3年第15週（4月12日～4月18日）に398件と前週の241件から大幅に増加し、施設などでのクラスターも散見されました。

川崎市においては、令和3年4月24日から75歳以上の方を対象に新型コロナワクチン接種の予約が開始されます。まん延防止等重点措置と緊急事態宣言の違い、基本的な感染対策とともに、ワクチン接種も検討しましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別発生状況(令和2年第1週～令和3年第15週)



	まん延防止等重点措置	緊急事態宣言
目的	特定地域からのまん延を抑えるため	全国的かつ急速なまん延を抑えるため
発令・適用	ステージⅢ相当 感染者の急増及び医療提供体制に制約を及ぼすおそれがある	ステージⅣ相当 爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全
対象地域	区画や市町村単位	都道府県単位
措置内容	・時短要請 ・知事の定める区域・業態にみだりに出入りしないことの要請 ・イベント開催制限	・時短要請～休業要請 ・外出自粛要請 ・イベント開催制限～停止
命令違反への罰則	20万円以下の過料	30万円以下の過料

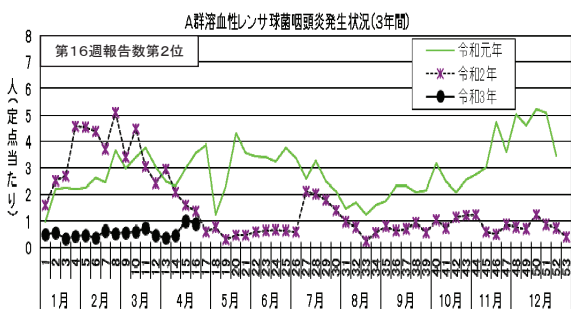
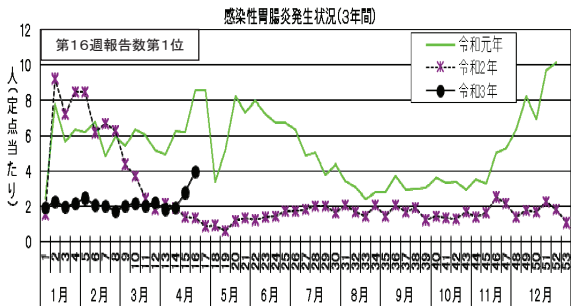
川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
（問合せ先）044-276-8250
令和3年4月20日作成

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年4月19日（月）～令和3年4月25日（日）〔令和3年第16週〕の感染症発生状況

第16週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) RSウイルス感染症でした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.94人と前週（2.75人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.89人と前週（1.00人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は0.69人と前週（0.53人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



RSウイルス感染症の報告数が急増しています！

RSウイルス感染症は、発熱、咳、鼻汁などを主症状とする急性呼吸器感染症で、2歳までにほぼ100%のお子さんが感染するといわれています。

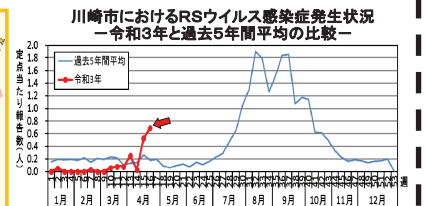
昨年の秋以降、九州・沖縄地方を中心に流行がみられていましたが、本州でも年明け以降、徐々に報告数が増加しています。

川崎市においては、昨年は新型コロナウイルス感染症の流行の影響を受けて、春以降は報告数が激減していましたが、今年は3月から徐々に増加し、令和3年第15週（4月12日～4月18日）の定点当たり報告数が0.53人、第16週（4月19日～4月25日）が0.69人と急増しています。

月齢の低い乳児や基礎疾患のあるお子さんは重症化しやすいため、今後の発生動向に注意しましょう。

RSウイルス感染症とは？

- 【潜伏期間】 2～8日（典型的には4～6日）
- 【感染経路】 飛沫感染（患者の咳やくしゃみなど）
接触感染（ウイルスの付着した手指や物品など）
- 【症状及び経過】 発熱・咳・鼻汁などの風邪様症状が数日続きますが、多くは軽症ですみます。中には咳がひどくなり、喘鳴や呼吸困難などの症状が出て、細気管支炎や肺炎へと進展するお子さんもいます。



- 【RSウイルス感染症の重症化リスクの高い方】
 - ✓ 早産児や生後6か月以下の乳児
 - ✓ 生後2-4か月以下で心臓や肺等に基礎疾患のある小児
 - ✓ 慢性呼吸器疾患等の基礎疾患のある高齢者

川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
（問合せ先）044-276-8250
令和3年4月27日作成

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年4月26日(月)～5月2日(日)〔第17週〕及び5月3日(月)～5月9日(日)〔第18週〕の感染症発生状況

第17週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)RSウイルス感染症 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 第18週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)RSウイルス感染症 3)流行性角結膜炎でした。
 第18週はゴールデンウィークで、多くの医療機関が休診であったため、ほとんどの疾患で報告数が減少しています。



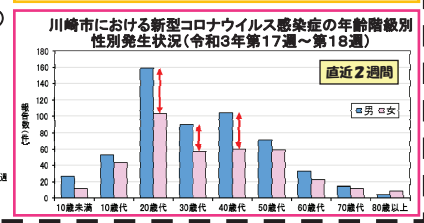
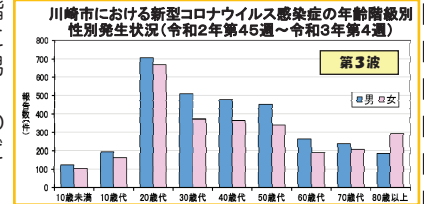
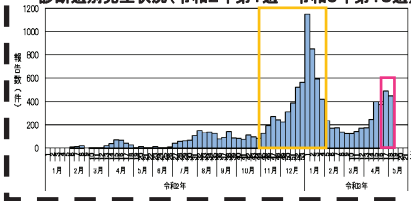
市内の新型コロナウイルス感染症発生状況～第3波と第4波の違い～

川崎市における新型コロナウイルス感染症の報告数は、令和3年1月上旬をピークに急激に減少しましたが、3月中旬以降再び増加し、直近2週間の第17週(4月26日～5月2日)及び第18週(5月3日～5月9日)は各々486件、446件の報告がありました。

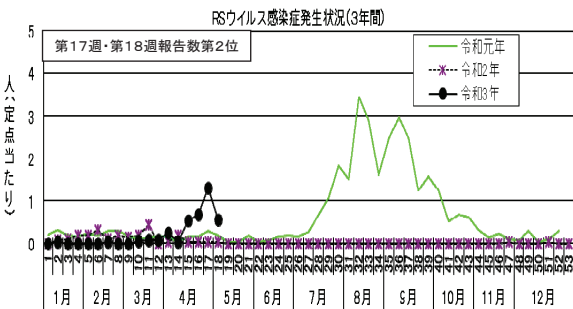
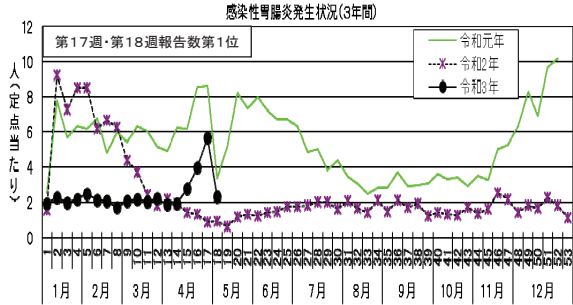
この2週間と第3波(令和2年第45週～令和3年第4週)を比較すると、いずれも男性の報告数が多く、年齢階級別では20歳代が最多でした。特に直近2週間は、20～40歳代の男性の割合が大幅に増加しています。

若い世代だけでなく40歳代男性の割合も増えていることから、職場などでの感染にも十分注意しましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別発生状況(令和2年第1週～令和3年第18週)



川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター(福祉事務所・保健所支所) 問合せ先) 044-276-8250 令和3年5月11日作成



今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年5月10日(月)～令和3年5月16日(日)〔令和3年第19週〕の感染症発生状況

第19週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)RSウイルス感染症 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.89人と前週(2.29人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は0.91人と前週(0.57人)から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.46人と前週(0.17人)から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

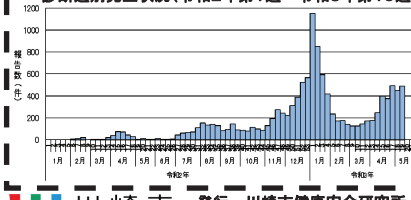


変異ウイルスの流行状況～新型コロナウイルス感染症～

現在、全国各地で新型コロナウイルス感染症の報告数が増加しています。新型コロナウイルスは変異を起こしやすく、特にウイルス表面のSタンパク質と呼ばれる突起の部分に変異することで、感染力やワクチン効果などに影響を及ぼします。我が国では、これまでに数種類の変異ウイルスが報告されていますが、感染力や重症化リスクが従来よりも高いといわれるN501Y領域に変異を起こした英国由来のウイルスが、徐々に現在の流行の主流となつていっています。この変異ウイルスは川崎市でも検出されており、川崎市健康安全研究所の検査では、直近1週間は66.3%、前週が74.0%と7割前後で推移しています。

変異ウイルスであっても感染対策は変わりません。こまめな手洗いや手指消毒を行うとともに、密な場所では正しいマスクの着用を徹底しましょう。

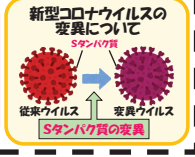
川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別発生状況(令和2年第1週～令和3年第19週)



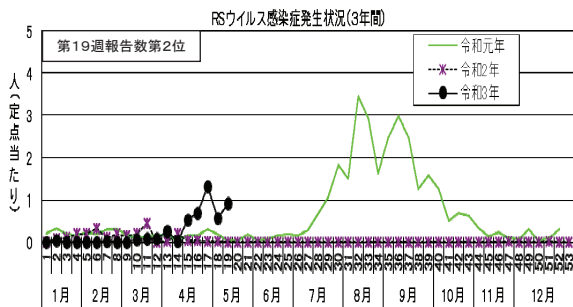
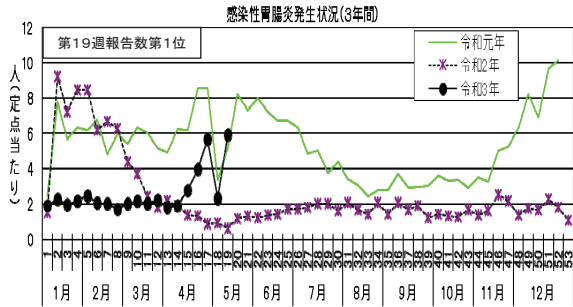
川崎市健康安全研究所におけるN501Y変異を有する新型コロナウイルスの検出状況

集計期間	直近1週間 (令和3年5月10日～5月16日)	前週 (令和3年5月3日～5月9日)	累計 (令和3年3月11日～5月16日)
検査実施数	83件	73件	534件
検出数	55件	54件	300件
検出率	66.3%	74.0%	56.2%

ファイザー社製の新型コロナウイルスについて
 現在使用されている新型コロナウイルスワクチンは、21日間隔で2回接種します。2回目の接種から7日以降に高い発症予防効果を得るといわれています。



川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター(福祉事務所・保健所支所) 問合せ先) 044-276-8250 令和3年5月18日作成

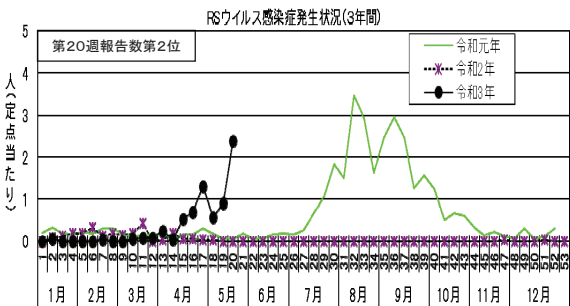
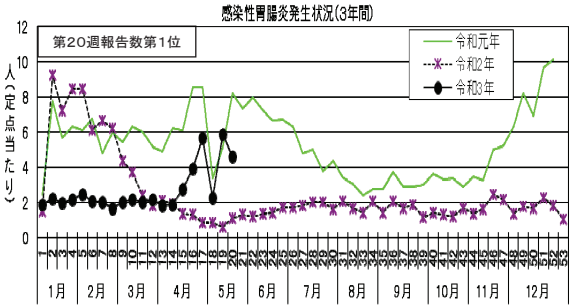


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年5月17日(月)～令和3年5月23日(日)〔令和3年第20週〕の感染症発生状況

第20週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) RSウイルス感染症 3) 突発性発しんでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.60人と前週(5.89人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は2.37人と前週(0.91人)から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.83人と前週(0.43人)から増加し、例年より高いレベルで推移しています。



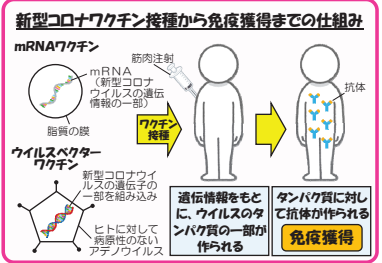
国内で新たに2社の新型コロナワクチンが承認されました！

新型コロナワクチンは、国内ではこれまでのファイザー社に加え、令和3年5月21日に新たにモデルナ社及びアストラゼネカ社のワクチンが承認されました。モデルナ社のワクチンは新型コロナウイルスの遺伝情報(mRNA)の一部を脂質の膜で包んだmRNAワクチンで、ファイザー社と同じ種類ですが、アストラゼネカ社のワクチンはヒトに対して病原性のないウイルスをベクター(運び屋)として、新型コロナウイルスの遺伝子の一部を組み込んだベクターワクチンです。いずれも2回接種で、同じワクチンを使用する必要がありますが、接種間隔や接種対象者などが異なるため、事前に確認しましょう。

また、接種した方の発症予防効果は高いといわれていますが、他の方への感染力については不明ですので、引き続き感染対策を徹底しましょう。

国内で承認されている新型コロナワクチンの比較

	ファイザー社	モデルナ社	アストラゼネカ社
ワクチンの種類	mRNAワクチン	mRNAワクチン	ウイルスベクターワクチン
接種対象者	16歳以上	18歳以上	未定
接種方法		筋肉注射	
接種回数		2回接種	
接種間隔	3週間	4週間	4~12週間
有効性	約95%	約94%	約70%



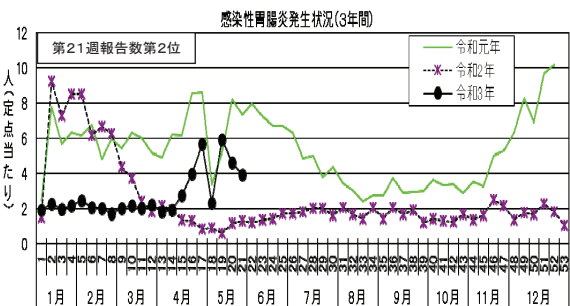
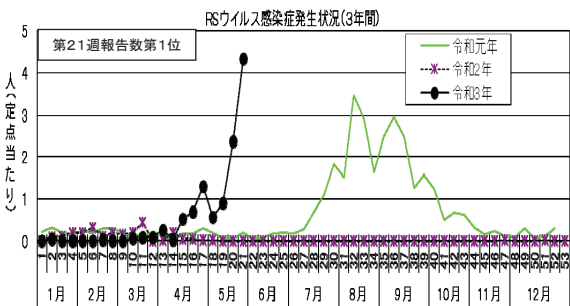
川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター(福祉事務所・保健所支所) 令和3年5月25日作成

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年5月24日(月)～令和3年5月30日(日)〔令和3年第21週〕の感染症発生状況

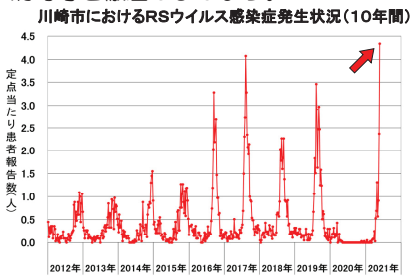
第21週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) RSウイルス感染症 2) 感染性胃腸炎 3) 流行性角結膜炎でした。
 RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は4.34人と前週(2.37人)から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.91人と前週(4.60人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.56人と前週(0.56人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



～RSウイルス感染症の報告数が過去10年で最多に～

川崎市におけるRSウイルス感染症の定点当たり報告数が、令和3年第21週に4.34人と過去10年で最多となりました。RSウイルス感染症は乳幼児に好発する感染症で、多くは軽症のまま経過しますが、初めての感染では重症化しやすく、特に乳児期早期の初感染の場合は重篤な肺炎等を引き起こすこともあります。また、生後1か月未満の児が感染した場合は、突然死に繋がる無呼吸発作を起こすこともあるので、十分な観察が必要です。

RSウイルスは飛沫や直接の濃厚接触、ウイルスがついたおもちゃなどを介した接触で感染します。また、大人も感染することがありますので、風邪症状のある方は小さいお子さんとの接触を避け、大人のマスク着用、手指・物品の消毒等を徹底しましょう。



RSウイルス感染症予防対策

- 乳幼児に接する際にはマスクを着用し、咳等の症状があれば接触を避ける。
- おもちゃ、手すりなどをアルコールや塩素系消毒剤で消毒する。
- 流水・石鹸による手洗い、アルコール消毒剤等での手指消毒を行う。

川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター(福祉事務所・保健所支所) 令和3年6月1日作成